

環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング発表資料

活動団体名：特定非営利活動法人仕事人倶楽部
活動地域：北岩手9市町村（北岩手循環共生圏）
（久慈市、二戸市、葛巻町、普代村、
軽米町、野田村、九戸村、洋野町、
一戸町）

活動におけるテーマ

北岩手9市町村が連携し大都市圏との 交流をまで視野に入れた 「北岩手循環共生圏」の構築

1

地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

食彩王国・悠久のまほろば・自然の恵み 北岩手
—豊かな森里川海で北岩手循環共生圏の形成—



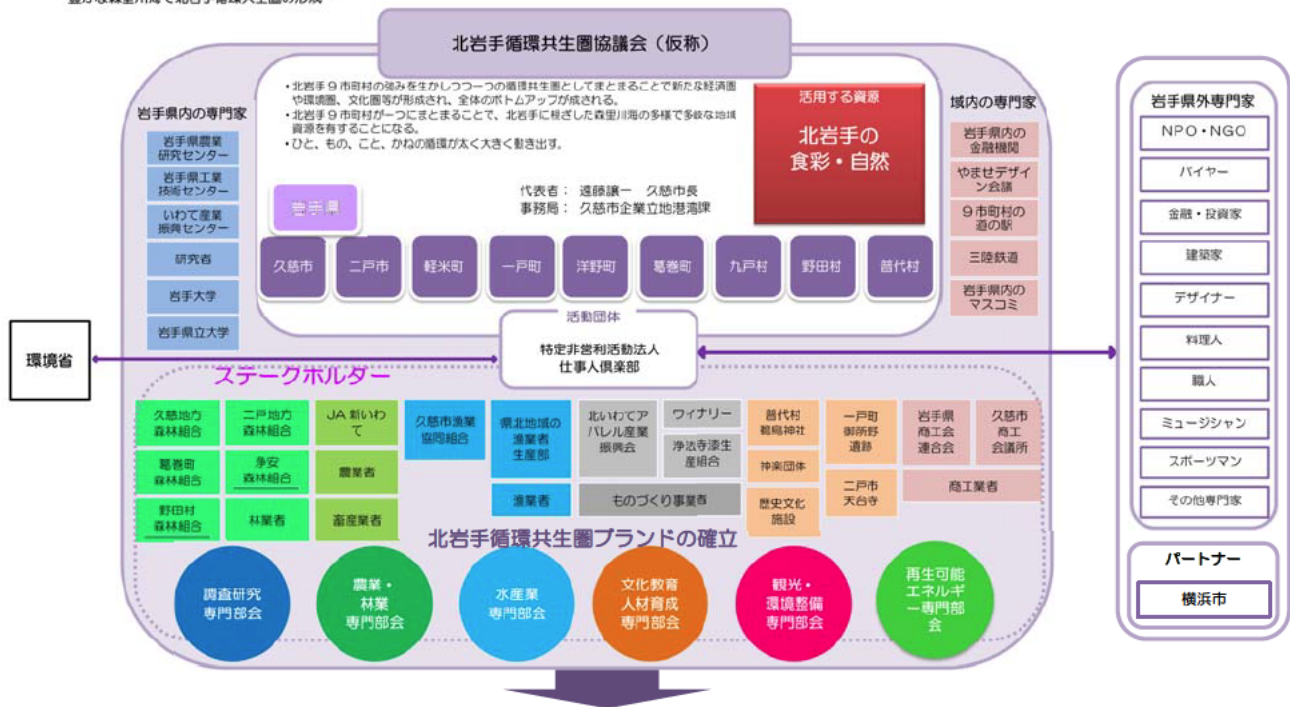
2

地域の現状と課題

地域の現状	課題
<p>【活動地域の概要】 岩手県東北端部に位置する 人口：11.9万人 面積：2,610.5km² 森林割合：80% リアス式海岸 夏場の沿岸には「やませ」が発生。</p>	<p>【現状から考える地域の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少・少子高齢化と担い手の確保 地域資源の地域における魅力の再確認 再生可能エネルギーの活用が不十分 情報・人材等の不足
<p>【活動地域の特性（強み・弱み）】</p> <p>弱み：東日本大震災からの復興のさなか 認知度が低い 少子高齢化が進む</p> <p>強み：9市町村が連携して取り組む 「森・里・川・海」の地域資源が豊富 再生エネのポテンシャル量が豊富</p>	<p>【今後取り組むべき課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の市町村に跨った広域連携維持 域内の魅力や北岩手循環共生圏の取組の周知 多様な地域資源の域内外での活用の検討 豊富な再生可能エネルギー積極的な有効活用 域内循環・域外循環の向上による経済活性化 持続可能な仕組みや組織作り
<p>【活動地域にある地域資源】</p> <p>山菜・キノコ、乳製品、食肉（豚・鶏・牛）、三陸鉄道、塩、昆布、サケ、ウニ、アワビ、漆、りんご、サクランボ、山葡萄、食用ホオズキ、雑穀類、ワイン、琥珀、マリンローズ、ティラノサウルス化石、清水・湧水、日本一の白樺美林、みちのく潮風トレイル、縄文遺跡群、リアス式海岸、三陸ジオパーク、津波被害からの復興、自然体験・教育旅行メニュー、木炭、アパレル産業、バイオマス発電（木質・畜産）、風力発電（陸・海）、小水力発電、太陽光発電</p>	<p>【課題の中で地域循環共生圏を活用し、解決しようとする課題】</p> <p>北岩手9市町村が連携する事により、豊富な「森・里・川・海」の地域資源の活用すると共に、再生可能エネルギーも地域資源として同様に活用することにより、人間の求める生活の基盤（衣食住）や人間らしい生き方を提供できる地域となる。それを都市住民にとって魅力ある「北岩手ブランド」として確立し、北岩手故の高付加価値として産み出し、域内の経済循環からの生活レベルの向上や交流人口の増加、移住・定住の促進等を図り、持続可能な社会の構築に取り組む。</p>

地域循環共生圏を活用して目指す地域の実現のために

食彩王国・悠久のまほろば・自然の恵み 北岩手
 —豊かな森里川海で北岩手循環共生圏の形成—



北岩手の9市町村が1つの循環共生圏として市場を拡大し、都市部（横浜市）との地域循環交流を推進することで新しい圏益を創成する。

